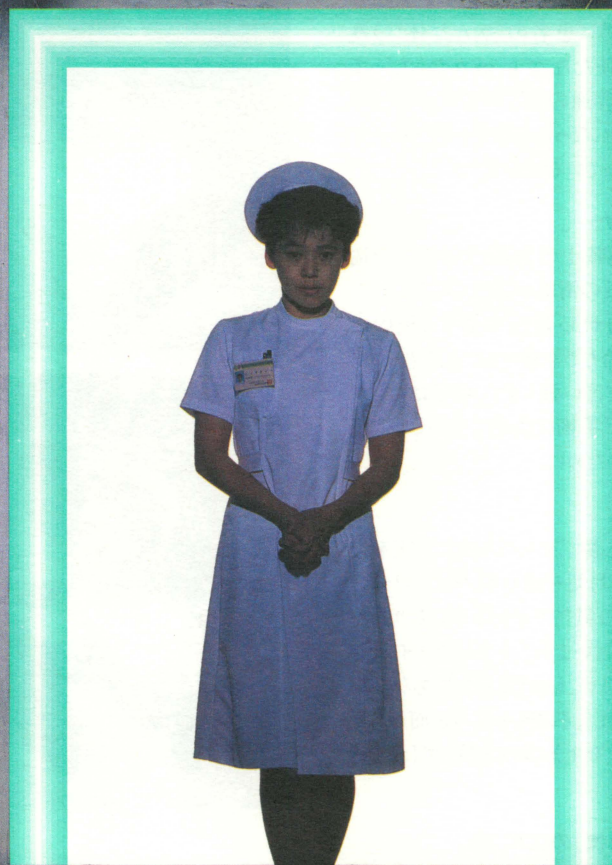


大竹しのぶ
和久井映見
渡辺正行
高橋長英
山本 亘
中谷 一郎
香野百合子
高林山紀子
岩崎加根子
加藤 剛
藤 真利子
渡瀬恒彦

製作・総指揮：野村芳太郎
製作・企画：神田敏夫
原作：江川 晴
(小学館刊「外科東病棟」より)
脚本：古田 求
監督：吉田 剛
撮影監督：川又 昂
音楽：松村禎三
製作：プロダクション・エフ
プロダクション・クラブボード
配給：松竹株式会社
芸術文化振興基金助成作品



ここには、愛かなしいドラマが
いっぱい入院しています。

復活の朝

中絶券(005) 半券(000) (半額一) 普通

DOLBY STEREO

復活の朝

●今、一番輝いているのは看護婦さんです。

城華大学附属病院外科東病棟。日夜の過重勤務をこなす婦長の清原レイ、ベテランの新川章子、新人の高樹亜沙子以下十数名の看護婦たち。時には、親友や母のように患者の“病んだ体”のみならず“傷ついた心”を癒す白衣の天使たち。でも、彼女たちだって恋と仕事のはざまに揺れ、愛に傷つく普通の女なのです。“命”というかけがえない財産を守る大事業をになった若きキャリア・ウーマンたちの前途は多難。でも、だから輝いているのです。

●手術は成功した…でも患者は死んだ…。

肺ガンで入院してきたバリバリの企業戦士の加藤。その告知を巡って、肺ガンの権威の植村教授と婦長の清原が激しく対立します。「病氣と徹底的に闘うには患者の協力が必要」と主張する彼の中に、患者を実験材料のように見ている冷たさを感じるからです。清原は「患者の人間性を守ることが第一」と言い張ります。病室はたしかに戦場。でも、そこには愛がなくては…。『手術は成功した…しかし患者は死んだ…』。そんなことが起こらないために。

●私が支えます。あなたが終るまで…。

植村教授が肺ガンで倒れた。告知主義で知られる彼に真実を告げるかどうか？ 婦長の清原は慎重な対処を望むが、すぐに自分の病氣を見抜いた植村は、初めて患者の気持ちを知る事になります。ホスピスへ転院するという彼に、清原は言います。「先生は静かに死を迎えるなんて許されません。闘ってください。私が支えます。あなたが終るまで…。」誰もが一度は直面する“死”。その死を真っ正面から見つめるからこそ、人は初めて本当の“生”を生きられると教えてくれる感動のヒューマン・ドラマです。

●『砂の器』の野村芳太郎+『小児病棟』の江川 晴。

原作は、昭和55年に『小児病棟』で第一回読売“女性ヒューマン・ドキュメンタリー”大賞優秀賞を受賞した江川晴の『外科東病棟』（小学館刊）。著者の長年にわたる看護婦としての実体験にもとづくこの問題作を『砂の器』の名匠野村芳太郎が製作・総指揮。『敦煌』の脚本家としても知られる吉田剛の第一回監督作品です。出演は大竹しのぶ、和久井映見、加藤剛、藤真利子、渡瀬恒彦等、実力派たちの熱演がみものです。

●用語解説

ターミナルケア：終末期看護

ホスピス：癌などの末期患者を主な対象に、身体的な苦痛の緩和だけでなく、病氣や死そのものに対する悩みなど、患者の精神面のケアをする終末期医療の考え方、及びその考え方にもとづいて作られた施設を指す。



●スタッフ

製作・総指揮——野村芳太郎
製作・企画——神田敏夫
原作——江川 晴
(小学館刊「外科東病棟」より)
脚本——古田 求
監督——吉田 剛
プロデューサー——織田 明
キャストिंग——古賀伸雄
プロデューサー——川又 昂
撮影監督——松村植三
音楽——横山 豊
美術——

●キャスト

清原レイ——大竹しのぶ
高樹亜沙子——和久井映見
小野文夫——渡辺正行
加東 仁——高橋長英
加東久枝——香野百合子
松井看護部長——岩崎加根子
宗像——山本 亘
高樹恭造——中谷一郎
植村淑子——高林由紀子
吉岡教授——加藤 剛
新川章子——藤 真利子
植村直行——渡瀬恒彦

11月21日(土)よりロードショー!
特別鑑賞券(一般¥1400/学生¥1200)発売中

地下鉄東銀座駅下車・駐車場完備

東

劇 03
(3541)
2711